



2024年度 医療的ケア児や重い障害のある子どもたちと家族の交流事業

キッズケアサミット2024活動報告書



概要と成果

活動背景

キッズケアサミットは、2015年から長野県軽井沢町で実施している旅行チャレンジ・滞在型イベント「軽井沢キッズケアラボ」のイベントの一つとして開催を続けてきました。重い障害や医療的ケアのある子どもたちと家族が交流や意見交換をする場として、子どもたちのことを多くの人に知ってもらい、みんなで子どもたちの未来を考えるきっかけとなるような場として、毎回様々な企画をしています。

このイベントに参加することで、重い障害や医療的ケアのある子どもたちと家族にとって新たな旅行や体験にチャレンジしたいと思えるきっかけになって欲しいと願っています。そして、このような活動が今後全国で展開されていく、そのような未来につなげたいと考えています。

イベント概要

◆10月5日（土）14時00分～17時00分 熱気球の搭乗体験

会場：軽井沢72ゴルフクラブ北コース向かいの広場（長野県北佐久郡軽井沢町発地 南軽井沢）

◆10月6日（日）10時00分～11時00分 交流会

11時00分～11時30分 ワークショップ

11時30分～12時00分 音楽コンサート

会場：軽井沢風越学園 体育館及びあさまテラス（長野県北佐久郡軽井沢町発地1278-16）

イベント参加者数

◆医療的ケア児等を含む参加組数 延べ13組

◆各イベント参加実績（参加者数）

・10月5日 熱気球搭乗体験 181名

・10月6日 医療的ケア児と家族の交流会・ワークショップ・音楽コンサート 延べ39名

各イベントの様子

10月5日（土）14時00分～17時00分

熱気球の搭乗体験

キッズケアサミットの恒例企画ともいえる熱気球の搭乗体験。「歩けるか、歩けないかだったら、できる子とできない子がいる。でも飛べるか、飛べないかだったら、みんな飛べない。だからみんなで飛んでみよう!」、そんな思いから2017年よりこのイベントを実施しています。今回も13組の重い障害や医療的ケアのある子どもたちとご家族をはじめ、地元軽井沢の子ども達や住民の方々も多く参加していました。

あいにく小雨の降る天候で、搭乗体験ができるのかを皆が心配していましたが、設営時には大きな熱気球が膨らんで、立ち上がっていく様子を全員で見ることができました。その後、天候の影響のため、残念ながら途中で断念となりましたが、代わりに実施されたガスバーナー体験では、ガスバーナーの熱さと音の迫力を直近に体験することができ、参加者からは歓声が上がっていました。

今回は天候の影響で、飛ぶかな、飛ばないかな、やっぱり飛んで欲しいな、そんな想いを誰もが抱きながら熱気球を見つめていたように思います。熱気球はもちろん飛んで欲しいのですが、それ以上に飛ぶことがゴールではなくて、飛ぶか、飛ばないか、その過程で生まれる想いを共有することに意味があると改めて感じる機会となりました。



◆10月6日（日）

10時00分～11時00分 交流会

トークゲスト 滑川すみれさん（医療的ケアがありながらきょうだいと同じ、地域の小学校の通常学級に通う小学三年生。「やりたい！」を大切に、いろんな事にチャレンジ中！）より、学校生活やこれまでのチャレンジを発表していただきました。この日のために自分で発表スライドを作成し、堂々と話すすみれさん。この後、参加者からすみれさんへの質問や重い障害や医療的ケアのあるご家族同士での意見交換がなされました。

◆参加者からの感想

・すみれちゃんの絵は上手だった！質問ができて嬉しかった、すみれちゃんが答えてくれた！！
（小学生）

・普段、医療的ケアが必要な方のお話を聞くことはないので、違った世界を知ることができました。視野が広がりました。（一般市民）

◆滑川すみれさんにご家族からの感想

すみれさん：気球に乗れなかったことは残念だったけど、お泊まりもお土産を買ったこともほっちのロッチも発表の日も、全部が楽しかった！たくさん遊べて楽しかった！

ご家族：日常を忘れられる自然豊かな環境の中で、ゆっくりした時間を過ごせて幸せでした。学校看護師さんとも想いの分かち合いができました。また、すみれの逞しさにはびっくり！こうやってどんどんすみれの道を自分で選択して進んで行って欲しいですね。軽井沢で出会った方達とのご縁を大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。



◆10月6日（日）

11時00分～11時30分 ワークショップ

ファシリテーターは安里友希さん。生まれながらに耳が聞こえない安里友希さんが企画したワークショップは、太鼓と手話で音楽を楽しむというもの。「太鼓の空気の揺れ、皆で合わせる手話は耳が聞こえなくても音楽を楽しめる方法なんです。」と安里さん。オレンジキッズケアラボのテーマソングを手話で歌ってみようと、安里さんから手話の動きの意味を学びながら、参加者同士が顔を見合わせて手話にチャレンジしました。

太鼓と楽器を使ったワークショップでは、音の大きさやその振動をみんなで体感。安里さんの「大きな音!」、「小さな音!」、「激しく!」「こっちの人からだんだん大きく!」といった声かけに、参加者もどんどんヒートアップ。一心不乱に楽器を叩く子どもたちにつられて、大人たちも一生懸命になり、最後は全員の声が合わさってとても迫力のある音となりました!

◆参加者からの感想

- ・全員で一体となる感覚が幸せでした。（医療関係者）
- ・手話や楽器を使ってみんなでひとつになれたこと、ステキな時間でした。0歳の娘も参加できました。（一般市民）

◆安里友希さんからの感想

間違いも失敗もない、皆で楽しめる空間の真ん中に立たせてもらい、一人一人の真剣で、楽しそうな顔を見ることができて最高の瞬間でした。一緒に時間を共有してくれて、ありがとうございました。



◆10月6日（日）

11時30分～12時00分 音楽コンサート

この音楽コンサートのために、医療的ケア児とそのきょうだい達がオリジナル楽曲の制作にチャレンジ。きょうだいの一人である岩崎元春くんが、透き通るような歌声で、完成したばかりのオリジナル楽曲を披露しました。有名アーティストの楽曲も手がける音楽プロデューサー 千葉哲也さんのバックアップもあり、とても素敵な楽曲に。会場全体が感動に包まれました。

◆参加者からの感想

- ・いろいろな所からいろんな方がいらしていることが嬉しかったです。コンサート、素敵で感動しました。（福祉関係者）
- ・今日は素敵な機会をありがとうございました。子供達の持つパワーを感じることができて、とても嬉しかったです。（行政関係者）

◆岩崎元春くんからの感想

いつもは自由に曲を作っているのですが、初めて「テーマ」を決めてそのテーマの雰囲気合う様に曲作りをしました。そこまでは良かったのですが、姉が作った詞をメロディーにあてて覚えたり歌ったりするのが意外と難しかったです。そして、僕が作った楽曲が千葉さんに渡す前と後では、かなりグレードアップ（僕の語彙力じゃ表現しきれませんが）していて感激しました！

これからレコーディングがありますが、全く未知の世界なのでちょっと不安です。でも、千葉さんがサポートしてくれるので、良い作品になることは間違い無いと思います！！一生の思い出になりました！



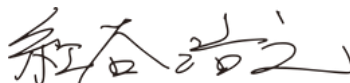
謝 辞

この度のキッズケアサミット2024の開催に際して、クラウドファンディングCAMPFIREにご支援をいただいた皆さん、参加者として会場に駆けつけてくださった皆さん、ボランティアで運営をサポートしていただいた皆さん、本当にありがとうございました。コロナ禍を経て、久々に対面での開催となりました。コロナ禍の間に、子どもたちにまつわる新たな制度やサービスが生まれ、こども家庭庁の開設もありましたが、どこか大人を主語にした話し合いが進んでいるようにも見えていました。子どもたちが主語のはずなのに、どこか置いてきぼりにされているような危機感を感じ、子どもたちが主体となって参加できる機会を作りたいと、今回のキッズケアサミット2024を企画しました。

熱気球はあいにくの天候でしたが、熱気球を前にバギー6台が並ぶ風景やその場にいる全員が同じ顔をして熱気球を見つめる様子を、これまでにない一体感を感じました。2日目は子どもたちが発信し、質疑応答で子ども同士でやりとりしている姿が、とても新鮮でした。改めて子どもたちが主体となって発信していく大切さとそのエネルギーの凄さを体感する機会となりました。

これからもキッズケアサミットをはじめ、子どもたちのチャレンジに、未来につながっていくような企画を作り出していければと思いますので、引き続きオレンジキッズケアラボをどうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人Orange Kids'Care Lab.
代表理事



ご支援いただいた皆さま（敬称略、順不同）

堀田聡子、室原誉伶、江口智子、しーちゃん???, 奈良史生、佐竹貴博、恋之音、大隅朋生、家入一真、石川和子、POSLOCH宮本二郎、滑川周平、NPO法人 Bumps、じじ&ばば、A,B,C,D、影近卓大、伊藤桂思郎

ご支援のお願い

【寄付で支援する】

オレンジキッズケアラボでは皆さまからのご寄付を募っています。いただいたご寄付は子どもたちとの活動や必要な支援において活用されます。あなたにあった方法で、私たちと一緒に子どもたちの未来をつくりませんか？



【Amazonウィッシュリストで応援する】

子どもたちが日々の活動で使うおもちゃや創作グッズ、安心して日々を過ごすための感染対策グッズ、災害時等のいざという時の備蓄用品などをご支援いただけます。



【福祉留学を通じて活動に参加する】

福祉留学（インターンシップ）に参加したい学生・社会人を募集しています。オレンジキッズケアラボの活動に参加したい、子どもたちに関わってみたい、障害福祉の分野について理解を深めたいなど、一つでも当てはまる方はぜひエントリーください。エントリーは随時、受け付けております。



一般社団法人Orange Kids'Care Lab.

福井県福井市灯明寺3丁目3511

0776-21-3339（平日9時～17時）

info@carelab.jp

子どもたちの活動や日々の様子はこちら

